

## 300B シングルアンプの再構成(1)

### －300B 真空管の交換－

#### 1. 始めに

現在、しなの音蔵特注の 300B シングルアンプは、メインシステムの FAL C90EXW を駆動するのに使用しています。このアンプの 300B を最新の復刻版の Western 300B 真空管に交換してみます。

#### 2. 300B シングルアンプの真空管の交換

最新の復刻版の 300B 真空管については、[オーディオセッション in Osaka 2021 報告\(2021.11.13\)](#) で報告していますし、下記サイトにも情報があり、新設ラインでの製造からの入荷 2 ロット目を購入しました。

<https://av.watch.impress.co.jp/docs/news/1362016.html>



300B 真空管に際しては、[ターンテーブルアキュライザーの導入\(8\)](#)で報告したように ST 氏立ち合いで行い、その後じっくり交換後の音質を確認していきました。音源は[ターンテーブルアキュライザーの導入\(2\)](#)と[ターンテーブルアキュライザーの導入\(3\)](#)で使用した下記を使用します。なお、試聴に際してはターンテーブルアキュライザー-TACU-1 を使用しています。

ドイツグラモフォン MG8333/4

ニコロ・パガニーニ 24の奇想曲  
サルヴァトーレ・アッカード (Vn)  
ドイツグラモフォン MG9551  
三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)  
ゲザ・アンダ (ピアノ)  
LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)  
リヒャルト・ワーグナー：ワルキューレ全曲  
ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル  
Angel AA-9117・C  
ヘンデル メサイア  
オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

### 3. ターンテーブルアキュライザーTACU-1の試聴結果

上記はいずれも大編成の曲の解像度と楽器の質感の再生を要求されるもので、24の奇想曲と選帝侯のソナタはTELDEC逆相、第4時定数Highで、ワルキューレはDECCA、逆相、第4時定数Highで、メサイアはEMI、逆相、第4時定数Midで聴いていきます。

24の奇想曲は何と言ってもパガニーニらしい鋭く切れ味のあるボウイングがヒステリックにならずに細かいニュアンスが表現できることがポイントです。

選帝侯のソナタのポイントは、アンダのピアノの打鍵とペダル操作などの表現力のリアルさです。

ワルキューレの再生上のポイントは、ソプラノやメゾソプラノの声の質感と位置関係の表現とオーケストラのダイナミズムの表現です。

メサイアの再生上のポイントは、ソプラノやバスの声の質感と合唱とオーケストラの分離と協和です。

球の交換直後のターンテーブルアキュライザーの導入(8)に記載した、やや太目の音になっているという印象は、その後のエイジングで薄れ、ディテールの再現も問題なく、上記の再生ポイントはクリアーできています。

ノイズフロアが幾分下がったようで、心持ち膨らみのある音で間接音がよく出るようになった印象です。

### 4. まとめ

300B シングルアンプの最新の復刻版の300B真空管への交換が完了し、安定的に動作することが確認できました。音質的には基本的な変化はなく、ノイズフロアが幾分下がったようで、心持ち膨らみのある音になったようです。

以上